

世界経済の減速が意識される

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

日経平均への寄与度が高い銘柄が売られた

昨日の日経平均は米国市場が軟調に推移したことが嫌気されて、前日比▼199円(▼0.7%)の2万7686円と3営業日ぶりの下落で終えた。もっとも日経平均構成銘柄の約半数は上昇しており、東京エレクトロン(前日比▼3.7%)、ファーストリテイリング(同▼1.8%)、TDK(同▼2.2%)といった、日経平均への寄与度が高い銘柄が売られたことが日経平均の下落につながったといえる。TOPIXは前日比▼0.1%の低下に留まった。業種別騰落率では空運(前日比+1.7%)、銀行(同+1.3%)、ガス(同+1.1%)が上昇率の上位、鉱業(同▼1.5%)、電気機器(同▼1.2%)、機械(同▼0.8%)が下位であった。個別銘柄では、JAL(前日比+2.2%)、ANAホールディングス(同+1.2%)といった航空関連や三越伊勢丹ホールディングス(同+3.5%)、高島屋(同+2.5%)といった小売、ふくおかFG(同+3.1%)、千葉銀行(同+2.8%)、コンコルディアFG(同+2.1%)といった地方銀行の一角が高い。

景気減速が意識される

現地7日の米国市場では、投資家の間では12月のFOMCを控えて様子見姿勢が強まり、NYダウは前日比+1ドル(+0.0%)の3万3597ドルとほぼ変わらず、ナスダックは同▼56ポイント(▼0.5%)の1万958ポイントであった。景気の減速が意識されてグロース株、原油が売られ、米長期金利の下落から円高ドル安となった。個別銘柄では発表された22年8-10月期の一株利益が市場予想を上回ったトールブラザーズ(前日比+7.7%)が大幅高、TSMCによるアリゾナへの大型投資が好感されて、アプライドマテリアルズ(同+1.3%)、テラダイン(同+1.0%)といった半導体製造装置関連銘柄の一角が買われた。一方で、中国における生産調整の報道が嫌気されたテスラ(前日比▼3.2%)やアルファベット(前日比▼2.1%)、アップル(同▼1.3%)といった大手IT銘柄が安い。WTI原油先物は前日比▼3.0%の72.01ドル、米10年債利回りは景気減速が意識されて前日比▼0.11%の3.42%で終えた。

今日の予定

現地7日のシカゴ日経平均先物は大証比▼75円の2万7585円で終了、今朝のドル円は1ドル136.50円程度(7時20分現在)で推移している。今日は国内では10月の国際収支、GDP改定値(22年7-9月期)の発表が予定されている。

東京市場マーケットデータ

2022/12/7 現在

日経平均	2万7686円
プライム売買代金	2兆6361億円
プライム時価総額	699兆382億円
日経平均予想PER	12.6倍
日経平均PBR	1.1倍
日経平均配当利回り	2.2%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

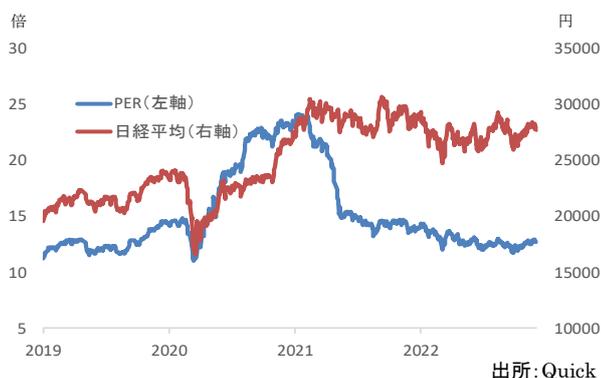
国内株式売買代金ランキング

2022/12/7 現在

	株価前日比
1 レーザーテック	▼4.9%
2 東京エレクトロン	▼3.7%
3 ソフトバンクグループ	0.8%
4 ファーストリテイリング	1.8%
5 任天堂	0.3%
6 三菱UFJFG	0.9%
7 トヨタ	0.3%
8 三井住友FG	1.6%
9 ソニーグループ	▼1.2%
10 キーエンス	▼0.6%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合は 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合は 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa